

凡事徹底 野間中だより

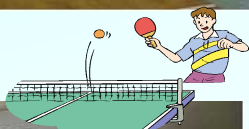
平成28年2月10日
第223号
野間中学校



入学説明会を行いました

2月3日(水)本校で来年度入学予定児童と保護者を対象に入学説明会を行いました。野間中学校区3小学校他、本校入学予定の6年生及びその保護者の方々に対して入学準備や入学後の生活について事前に説明するものです。中学校での教科ごとに先生がかわる教科担任制の授業や教育課程、中学校生活の決まりなどを生徒会のみなさんに協力してもらい説明しました。また、部活動紹介と歓迎を込めて合唱部が歌を披露しました。

後半、児童は部活動見学、保護者の方々は家庭教育講座を行いました。



ケータイ凡事徹底5カ条を説明する
生徒会のみなさん



森下先生からは生活のお話



←後半行われた家庭教育講座

美浜町生涯学習課の方々をお招きし「保護者のためのスマホ教室」を行いました。スマホのリスクや身近にある危険などについてお話をいただきました。



在校生・職員一同、心から新入生のみなさんをお待ちしております。

厄年の方々よりご寄付を頂戴しました

2月2日(火)、厄年を迎えた上野間卯辰会、奥田うたつ会、野間平成2年度卒業生一同の方々より、「野間中学校の子どもたちのために役立ててください」とのお言葉とともにご寄付を頂戴いたしました。

それぞれの地区の代表の方が来校されました。ご寄付で体育館で使用できるハイパワープロジェクターを購入し、生徒の学校生活に生かしていきます。ありがとうございました。



ありがとう
ございました

編集部より 「野間中だより」をご愛読ありがとうございます。「野間中だより」に関するご感想やご意見がございましたら、編集部までお寄せください。

野間中だより編集部 nomajh_dayori@yahoo.co.jp

「わかる喜び・できる楽しさを実感できる生徒の育成を目指して」 －学習規律の確立と基礎基本の定着を図る学習指導を通して－

本校は、昨年度までの3年間、「他者とのきずなを大切に、思いを表現できる生徒の育成ー各教科・領域における言語活動の充実を通してー」というテーマで研究に取り組んできました。言語活動の充実を図りながら各教科や行事の目標にせまる中で、生徒同士だけでなく教師や保護者、地域の方々それぞれがつながっていくこと、認め合うことを目指しました。その結果、生徒たちは、徐々に自分の思いを表現できるようになってきました。今年度は新たに、学習規律と基礎基本を大切に、生徒たちが「わかる」「できる」を実感できる授業づくりを目指し、授業実践を連載で紹介いたします。今回は天木 章教諭の第3学年保健体育（女子）「バレーボール」の授業実践を紹介いたします。

天木 章教諭の授業実践

保健体育科3年女子 ネット型球技＜バレーボール＞

バレーボールは、ネットを挟むことによって、相手との接触がないので攻撃を組み立てやすく、チームプレーを意識しやすいことから、チームとしての課題や個人の目標が設定しやすいという特性があります。また、練習やゲームを通して、個人的技能や集団的技能を高めることができるとともに、体力の向上を図ることもできます。さらに、自らの責任を果たしたり互いに助け合ったりするなど、社会生活に必要な態度も培うことができます。しかし、ゲームでのラリーが続かないと楽しさを味わうことができません。これらの特性から、生徒一人一人がもっている力を生かして、互いに教え合い、支え合いながら、自主的・自発的に学習を進めることや、個人的技能や体力に応じたゲーム内容を工夫することで、楽しさや喜びを味わうことのできる種目と考えます。

学習計画

- ・各種パス、レシーブ、サーブの技能向上のための練習をする。
- ・チームで基本機能の復習をし、簡易なゲームをする。
- ・ミニコート、少人数で初歩的なゲームをする。
- ・正規のコートでルールを易しくしたゲームを楽しむ。
- ・チームにあった作戦を立て、総当たり戦のゲームを楽しむ。

目標

- ・ボールの落下点に素早く入り、オーバーハンドパスとアンダーハンドパスを使い分けながらラリーを長く続けることができる。

基礎基本の定着を図る学習指導の具体的な手立て

毎時間、導入段階でスキルアップトレーニングを用いた。バレーボールに必要な動きや筋力、スパイクやレシーブの形を身に付けさせ、主運動へのスムーズな移行にところがけました。グループ活動の中で、得意と思われる生徒には、チームのリーダーとなって、チームメイトにアドバイスしたり、チームの課題は何かを話し合ったりして、練習に取り組ませました。タスクゲームでは、ボールをつなぎやすいようにファーストキャッチを導入するなどルールを工夫しました。また、学習カードを利用して確認させることで、バレーボールの技能とともに、協力して「ネット型スポーツの楽しみ方」を学ばせたいと考えました。

考察

積極的にボールに近づいていく生徒が多く見られました。バレーボールのパス・レシーブの技能に近づけるためにも、ファーストキャッチするボールの位置を、オーバーハンドパスは「額の前で」、アンダーハンドパスは「腰の位置の手前で」というように、落下点に入るときのポイントを具体的に示すともっと効果的であったと感じました。

ミニゲームでは、全体の触球回数を得点にしたため、得点がだんだん入ると、1・2回の触球回数で相手コートに返してしまう場面が見られました。特別ルールにすればするほど本来の競技から離れてしまったと感じました。そこで、必要最小限にとどめ、ねらいにせまる特別ルールのみを取り入れることが重要であると思いました。



ミニゲーム



研究協議会

←授業後に全職員でプロット図を使って授業についての協議会を行っています。

次号は、田中菜穂美教諭の3年生家庭科「衣生活、住生活などの生活の工夫」の授業実践について紹介します。



教諭 天木 章



リーダーを中心にしたグループ学習